

103-152

問題文

交感神経系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. エフェドリンは、交感神経終末からノルアドレナリンを遊離させるほか、アドレナリン受容体を直接刺激する。
2. ミドドリンは、末梢血管平滑筋のアドレナリン α_1 受容体を刺激することで血圧を上昇させる。
3. クロニジンは、中枢神経系のアドレナリン α_2 受容体を遮断することで交感神経終末からのノルアドレナリン遊離を抑制する。
4. ミラベグロンは、膀胱平滑筋(排尿筋)のアドレナリン β_3 受容体を遮断することで蓄尿機能を高める。
5. カルベジロールは、 K^+ チャンネル開口作用とアドレナリン β 受容体遮断作用によって、血圧を低下させる。

解答

1, 2

解説

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

クロニジンは、 α_2 受容体「刺激」薬です。遮断するわけでは、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

ミラベグロンは、 β_3 受容体「刺激」薬です。遮断するわけでは、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

カルベジロールは、 α 遮断+ β 遮断により血圧を低下させます。 K^+ チャンネル開口ではありません。（ K^+ チャンネル開口といえば、ニコランジルの作用機序の一つです。）よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。

類題 、